

平成25年度大阪府立弥生文化博物館夏季特別展

弥生人の 舟

モンゴロイドの海洋世界

2013

8.13 (火)

10.14 (月祝)

開館時間 午前9時30分～午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 (ただし9/16・23、10/14は開館)、9/17・24

入館料 一般600円、65歳以上・高大生400円 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方と
その介助者1名様は無料/20名様以上の団体は2割引

【主催】大阪府立弥生文化博物館・読売新聞社

【後援】泉大津市・泉大津市教育委員会・和泉市・和泉市教育委員会



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL:0725-46-2162
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

弥生人の船

モンゴロイドの 海洋世界

舟は 扉

は無限の世界への
扉を開く
鍵。



南太平洋の
高度な海洋社会
ツロモン諸島出土ラピタ土器/
東京大学考古学研究室蔵

弥生文化は船から始まった。モノ、情報、ヒトが運ばれ、新しい文化が広がっていく。謎の多かったこの時期の船も、近年の発掘調査でみえてきた。造船技術に大きな進歩がみられ、大海原を船団が行き来した弥生時代の船はどのようなものだったのか。目的地にたどりつくその航海術は？ 縄文時代、古墳時代、そして古代モンゴロイドの海洋文化と比較しながら考える。

冒険のDNAに
翼が与えられた。

リアルな古代船のイメージ
大阪市高麗り古墳出土船形埴輪/
文化庁所蔵(大阪歴史博物館保管)
重要文化財 左はレプリカを展示



写真提供:公益財団法人
大阪市博物館協会 大阪文化財研究所

弥生時代に出現した
新しい船「準構造船」とは？

復原した準構造船触先/
公益財団法人
大阪府文化財センター蔵



考古学セミナー

第1回 8月31日(土)「黒潮圏の考古学」

元東京都学芸員 小田 静夫氏

第2回 9月 7日(土)「弥生の海を往く船とその信仰」

奈良大学名誉教授 水野 正好氏

第3回 9月21日(土)「倭人船—久宝寺・加美遺跡出土の船材を中心として—」

京都橋大学教授 一瀬 和夫氏

第4回 10月14日(月祝)「古代モンゴロイドの海洋世界」

南山大学教授 後藤 明氏

時間:いずれも午後2時~4時 | 参加費:無料(要入館料)

定員:各回とも170名(当日先着順 開館時より整理券配布・午後1時30分から受付)

学芸員による展示解説

8/31(土)、9/7(土)、9/21(土)、10/14(月祝)

時間:午前11時~(約1時間) | 参加費:無料(要入館料)

ワークショップ 「船のペーパークラフト—出航! 弥生の海へ—」

8月25日(日)、9月22日(日)

時間:午前10時から午後3時まで | 参加費:無料(要入館料)

ACCESS

JR阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
南海本線「松ノ阪」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】

JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、(船)おとり駅で普通電車にお乗換えください。
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。
船から3駅目が信太山(しのだや)駅です。

国道26号「地上町」交差点南西角
P普通車72台(無料)



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture